



南校だより

令和6年 1月 9日(火)
中津川市立南小学校
No. 31

明けましておめでとうございます。

学校長 小木曾敏樹

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

おめでたいはずの元日から、能登半島地震が発生し、この中津川でも震度4の揺れが長く続きました。この地震により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、数日後には航空機事故が発生し、今年はどんな年になるのだろうか、多くの方々が不安を抱かれたのではないのでしょうか。南小学校で力を入れている「命の安全」に関わる教育、防災、避難、交通安全の教育活動をさらに充実したものにしないでと、心に強く思った年始めでした。

令和5年は、子どもたちが大きく成長した1年間だったと思います。成長した姿は、「歌声交流会」で見ただけかと思えます。次は2月16日(金)の参観日、学年ごとに学習成果の発表を行います。総合的な学習の時間や生活科で、どんなことを学び、何を考え、どんなことができるようになったのか、一人一人が発表します。我が子とともに、同学年の児童がどんなふうに成長したのかを、確認していただけたらと思います。

さて、令和5年度も、残り2ヶ月半です。この1年間の仕上げであるとともに、次の学年への進級準備期間です。次の学年の「0学期」と捉えて、様々な準備に入っていきます。これは、「節目」を成長につなげたいと考えるからです。子どもの成長は1日1日、目では見えないような成長を続けていきます。しかし、飛躍的に成長したり変化したりすることがあります。それが「節目」です。多くは、年度の変わり目、つまり4月です。担任も学級の仲間も変わるこの節目が、一番変わりやすい時です。

しかし、その変化を他力本願で待っているだけでは、効果的な変化は起こりません。偶然のような変化は本物ではなく、すぐに元に戻ります。この変化を必然にするためには、それなりの準備が必要だと思っています。

4月以外にも、この成長の「節目」はあります。たとえば、運動会などの大きな行事、夏休みなどの長期休み明け、大きなアクシデントなどがあつた時。他にも、委員や係の活動、授業での活躍、仲間との関係の変化など、成長の機会はたくさんありますが、大きく成長するかどうかはその子次第。日々成長はしていくのですが、大きく成長する子にはその必然があるのです。その必然は、なりたい自分像を描くことであつたり、目標設定だつたり、活動への意欲だつたり、逆に、今の自分自身に対する不満だつたりするのでしょう。

いずれにしても、令和6年をよりよい形でスタートし、なりたい自分に近づいて自己肯定感を高めていくことが、より大きな成長への道筋だと考え、子どもたちの指導に当たっていきたく思います。来週からはPTA本部役員さん方による挨拶運動が、また、家庭教育委員会主催の読み聞かせが開催されます。今年も保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、南小学校の教育活動をさらに充実したものにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。



「成長する子どもたち、成長しようとする子どもたち」

12月26日の「冬休み前集会」は、児童会による「第4期の振り返り集会」でもありました。その中で、3年生、4年生の代表5人が、第4期を振り返り、そして、5期への意欲を語ってくれました。5人ともが本当に素敵な、飾りのない、素のままの自分を語ってくれていて、それにとっても感動を覚えました。紙面の関係で、全ては掲載できないので、4年生の2人の原稿を紹介します。成長と成長の必然を感じられる素敵な発表でした。

「仲間がいて成長できた自分」 4年O部 Yさん

今、ぼくが全校の前に立っていて、代表の話をするなんて、一年前のぼくは想像することもできませんでした。でも、今こんな自分になれたのは、4年O部の仲間のおかげだと思っています。

ぼくが、授業で初めて手を挙げて意見を言ったのは、6月くらいでした。とてもドキドキしました。でも、言えたらクラスの仲間が「すごいやん！」と言ってはく手をしてくれました。ぼくはいい気持ちになりました。そして、少しずつ挙手できることが増えていきました。算数などの授業では、仲間との意見交流の時に、立って自分から行けることも増えていきました。

そして、運動会。ぼくは8の字とびの初めての練習でとべませんでした。くやしくて泣けてきて、家に帰ってから家族と練習しました。すると、だんだんとべるようになったところに8の字リーダー決めがありました。「やってみようかな・・・」初めてそんな気持ちになって手を挙げました。リーダーになって途中でうまくできなくて、くやしかったこともありました。でも、本番では最高記録が出て「みんなのおかげでこんな記録が出てうれしい！」と思いました。

この4期では、歌声交流会がありました。去年のぼくは、大きな声で歌いたい気持ちはあったけど、声が出せなくて、あとから「なんで歌えなかったんだろう。」とこうかいしました。今年は、マスクをみんなを外して思いっきり歌うことができました。はずかしがり屋だったぼくが、今年は大きく口を開けて、しっかり声を出して歌える自分になっていました。お母さんや先生たちにたくさんほめてもらって、とてもうれしかったです。

授業では、今、毎日挙手することができます。周りの仲間がたくさん挙手をしていると、安心して挙げられるし、今まで仲間が「がんばって！」と応援してくれたり、「すごいやん！」と認めてくれたりしたのおかげです。4年O部の仲間感謝しています。

5期には、毎時間挙手をしたいし、今度はぼくが仲間を応援したり認めたりしてあげたいです。そして、自信をもって5年生になれる準備をしたいです。

「ぼくがかわったこと」 4年O部 Yさん

ぼくが4期がんばったことは、“クラスに必要なよびかけ”と“歌声交流会”です。3年生までのぼくは、よびかけされても一度も聞けず、仲間にめいわくをずっとかけていました。また、歌声交流会の練習では、口も開けず、ふらふらしてしまい「歌いたくないなー」という気持ちの自分がいました。

しかし、4年生になって、このままではいけない、ぼくは学級目標にある“手本”になりたいし、変わりたいという思いがありました。

歌声交流会で、ぼくのとなりで歌っていた〇〇さん、大きな口で歌っていてまねをしたいと思わせてくれてありがとう。口の形を大きくして手本となっていた〇〇さんありがとう。

5年生までに、ぼくは必要な呼びかけをクラスのために行うことをけいぞくします。たといやなことやイライラしてもがまんできる自分になります。